

事務事業実績測定調査

事務事業名称	各種スポーツ大会等開催事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち								
	実行計画名		6-2.健康づくりの推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	-
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	各種大会、イベントに参加する各種スポーツ競技者及び競技者となる可能性がある人
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	競技者にとって活動の目標が少なくなる。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	各大会に参加する市民の健康維持、体力増進を図られ、スポーツ活動が活発になった状態。
---------------------------	---

事業概要	市民のスポーツ振興を図るため、各種スポーツ大会やレクリエーション事業等を実施し、市民の健康維持・体力増進とスポーツ活動をより活発にすることを目的として、下記事業を実施する。 ①各種競技大会(総合体育大会等)の運営を公益財団法人枚方体育協会に委託し、実施。 ②市内高校バレーボール大会を実施し、同競技の振興と青少年の健全育成を図る。 ③ラグビーカーニバルを公益財団法人枚方体育協会に委託して実施。
------	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	各種スポーツ競技者等の市民は、大会・イベントを目標として継続的に活動しやすくなる。	各種スポーツ競技者等の市民は、大会やイベントに参加する。	各種スポーツ大会、イベントを開催する。	
指標設定	指標説明	令和元年度を基準とした参加者数増減率	各種大会参加者数	実施回数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位: %	単位: 人	単位: 回
	目標(見込み)	R2: 0, R3: ▲2.50, R4: ▲5, R5: ▲7.50	R2: 22,000, R3: 21,500, R4: 21,000, R5: 20,500	R2: 10, R3: 10, R4: 10, R5: 10
	実績	R2: ▲74, R3: ▲51	R2: 5,800, R3: 11,118	R2: 3, R3: 4
達成度	0%	52%	40%	
分析	令和元年度と比較して、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅減となったが、令和2年度と比較して大会実施回数が増加したため、参加者の減少率が緩和している。	令和2年度と比較して、施設利用可能な期間が増加したことで大会実施回数が増加し、参加者数が増加した。	令和2年度と比較して、施設利用可能な期間が増加したことで大会実施回数が増加した。	

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.05
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,612	3,190	3,929		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	100	0	92		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	5,712	3,190	4,021		
	物件費計	35,111	29,201	28,616	36,913	80%
	歳出計	40,823	32,391	32,637		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	1,112	8,000	
	歳入計	0	0	1,112	8,000	
	一般財源	40,823	29,201	27,504	27,846	

5. 総括的分析

令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で大会等イベントが中止されたことで、令和元年度(コロナ以前)と比較して大会実施回数や参加者数は大幅に減少しているが、令和2年度と比較して令和3年度の状況は緩和・改善傾向にある。
 令和2年度は感染拡大状況に応じて発出される国の緊急事態宣言や府のまん延防止措置等に基づいて、市内施設を5ヵ月以上にわたって利用中止としていたが、令和3年度の利用中止期間は2ヵ月間程度であった。また、令和2年度は大会等を不要不急のものとして中止する傾向にあったが、令和3年度はアフターコロナを見据え、感染対策の上で可能な限り大会を実施した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続きアフターコロナを見据え、オンラインを活用したイベント開催も含め検討していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														市民スポーツカーニバル開催事業													
測定年度				2021(R3)年度				部		観光にぎわい部				課		スポーツ振興課											
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4																	
総合計画体系		基本目標		2.健やかに、生きがいをもちながら暮らせるまち																							
		施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち																							
		実行計画名		6-2.健康づくりの推進																							
1. 事務事業の概要																											
種類		市民サービス				特性				選択的事业				区分		一般事務事業											
事業期間		1983(S58)年度				年度		~		年度まで																	
根拠法令等		スポーツ基本法、決裁																									
関係補助金名称		サンセット																									
関係附属機関名称																											
事業対象		メインターゲット		体力向上や健康増進に興味がある人、普段特定の施設しか利用しない人																							
		サブターゲット																									
		ターゲットが抱える課題		体力向上や健康増進の方法に触れる機会が不足する。																							
		ターゲットが抱える課題																									
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		イベントをきっかけとして、参加者の意識が改善し、体力向上や健康増進の取り組みを実施、継続している状態。																									
事業概要		毎年体育の日に、市民の体力向上及び健康増進を図り、生涯スポーツの普及・振興及び市民相互の交流と親睦を促進するため気軽に参加できるスポーツイベントを開催することを目的に、各体育施設の指定管理者、体育協会、スポーツ推進委員協議会等様々な団体の協力を得て、総合スポーツセンター、渚市民体育館、伊加賀スポーツセンターで市民の体力向上と健康増進をはかるため、多彩なメニューを工夫して、多くの市民参加のもと事業を実施する。																									
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)																	
		参加がきっかけとなり、健康維持、体力増進の取り組みが継続的に実施される。				体力向上や健康増進に興味がある市民が、スポーツカーニバルに参加する。				体育の日に指定管理者や各団体と連携して市民スポーツカーニバルを開催する。																	
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)																	
		指標説明		事前申し込み制のイベント参加者の満足度【算出式:アンケートで「満足」または「やや満足」と回答する方/アンケート回答者全体の割合×100】				事前申し込みイベント参加者数				事前申し込みイベント数															
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標															
		指標数値		R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5															
		目標(見込み)		70 70 75 80				105 105 110 115				3 3 3 3															
		実績		0 0				0 0				0 0															
		達成度		0%				0%				0%															
分析		例年市民スポーツカーニバルを実施している「スポーツの日」にオリンピック・パラリンピック関連事業を実施するため、令和3年度は市民スポーツカーニバルを実施しなかった。				例年市民スポーツカーニバルを実施している「スポーツの日」にオリンピック・パラリンピック関連事業を実施するため、令和3年度は市民スポーツカーニバルを実施しなかった。				例年市民スポーツカーニバルを実施している「スポーツの日」にオリンピック・パラリンピック関連事業を実施するため、令和3年度は市民スポーツカーニバルを実施しなかった。																	

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,603	0	0		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	1,603	0	0		
	物件費計	12	0	0	3	—	
歳出計		1,615	0	0			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		1,615	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析 例年市民スポーツカーニバルを実施している「スポーツの日」にオリンピック・パラリンピック関連事業(コミュニティライブサイト)を実施するため、令和3年度は市民スポーツカーニバルを実施しなかったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、結果的にコミュニティライブサイトも中止した。市民スポーツカーニバルは令和2年度から2年連続で開催していない。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	アフターコロナを見据え、オンラインでのイベント開催方法も含めて検討していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	スポーツ推進事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいをもちながら暮らせるまち								
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち								
	実行計画名		6-2.健康づくりの推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2016(H28)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市スポーツ推進審議会条例				
関係補助金名称				サンセット	-
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	ライフステージに応じて、様々なスポーツに取り組む人
	サブターゲット	ライフステージに応じて、これから様々なスポーツに取り組もうとする人
	ターゲットが抱える課題	生涯にわたって多種多様なスポーツを楽しめる環境づくりが求められている。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	誰もが生涯にわたってスポーツに親しめる環境がある状態。
---------------------------	-----------------------------

事業概要	だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康を増進し、人と人との交流を深めることを支えることを目的に、スポーツ基本法第10条に基づき、本市の実情に即したスポーツの推進に関する計画を策定し、体力づくりや健康増進とあわせて介護予防などに効果的なスポーツ振興に関する事業を総合的・計画的に推進する。 また、条例の規定に基づき、教育委員会の附属機関として枚方市スポーツ推進審議会を設置し、教育委員会の諮問に応じてスポーツ推進計画に関する答申を行うとともに、スポーツ推進計画の推進に関する事項やスポーツの推進に関する重要事項を調査審議する。
------	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりにつながる。	計画や審議会の意見に基づき、スポーツ振興に関する事業を実施する。	審議会等で各部署での取組を点検・評価する。	
指標設定	指標説明	答申に対して拡充や見直し等が図られた事業の割合 【算出式: 拡充等が図れた事業/答申を受けた事業数×100】	規模や手法の見直しや、新たな施策展開の答申を受けた事業数	進捗管理を行うのべ施策数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位: %	単位: 事業	単位: 事業
	目標(見込み)	R2: 90, R3: 90, R4: 90, R5: 90	R2: 10, R3: 10, R4: 11, R5: 12	R2: 219, R3: 219, R4: 219, R5: 219
	実績	0, 0, ,	0, 0, ,	219, 219, ,
	達成度	0%	0%	100%
分析	答申を受けた事業が無かった。	答申を受けた事業が無かった。	進捗管理を行うのべ施策数を行うのべ施策数は令和2年度から増減が無かった。	

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	12.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	14,649	2,393	3,663		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	360	0	183		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	105		
	人件費計	15,009	2,393	3,951		
	物件費計	1,229	10	0	1	—
	歳出計	16,238	2,403	3,951		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	1,000	0	0	0	
	歳入計	1,000	0	0	0	
	一般財源	15,238	10	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度新型コロナウイルス感染症の影響により、審議会を開催することができなかったが、令和3年度は開催することができた。体力づくりや健康増進と併せて介護予防等に効果的なスポーツ振興に関し、オンラインなどコロナ禍でも実施できる事業について検討を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、スポーツ推進計画の具体的施策に基づき、所管部署で実施した事業実績や今後の方向性について、スポーツ推進審議会で点検・評価を行う。また、コロナ禍での審議会の実施方法やよりよい進め方について検討するとともに、効率的な進捗管理の手法について検討する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	サブリ村野スポーツセンター維持管理事業												
測定年度	2021 (R3) 年度				部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名												
1. 事務事業の概要													
種類	内部管理			特性			内部事務			区分			一般内部管理事務
事業期間	2013 (H25) 年度				年度	~					年度まで		
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市立サブリ村野スポーツセンター条例、枚方市立サブリ村野スポーツセンター条例施行規則、枚方市立サブリ村野スポーツセンター使用料に関する規則												
関係補助金名称												サンセット	
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット		サブリ村野スポーツセンターの利用者										
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題		サブリ村野スポーツセンターの利用者が安全に利用できるよう環境整備されることが求められている。										
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。												
事業概要	サブリ村野スポーツセンターの維持管理し、この環境整備を通じてスポーツ振興を図ることを目的として、旧村野小学校跡を整備しリニューアルオープンしたサブリ村野スポーツセンター(運動広場、体育館、多目的体育室1~4)の管理運営を行い、生涯スポーツの活動の機会と場を提供することで、市民の健康の増進と体力の向上を図る。施設使用にかかる窓口業務等については、サブリ村野NPOセンターとあわせて、特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センターへ委託し、実施している。												

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						サブリ村野スポーツセンターが適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。			
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明				施設の不備等による事故件数				施設保全や保守点検に関する対応予定件数				
	指標種類				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
						0	0	0	0	9	9	9	9
	達成度						100%				100%		
分析						保守点検及び日常的な維持管理を適切に行い、施設の不備等による事故件数は0件であった。				適切な施設維持管理及び保守点検を実施した。			

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.70
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.01
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,642	5,273	4,968		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	100	0	19		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	3,742	5,273	4,987		
	物件費計	9,922	10,533	10,947	11,262	97%
	歳出計	13,664	15,806	15,934		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	4,867	3,011	4,108	4,866	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	1	497	0	
	歳入計	4,867	3,012	4,605	4,866	
	一般財源	8,797	7,521	6,342	6,396	

5. 総括的分析

総括的分析 施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数が0件であった。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き保全計画等に基づき、効果的・効率的な事業実施ができるよう適時モニタリングを実施し、適切に施設の維持管理を行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	スポーツ少年団活動支援事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名		17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事业			区分	一般事務事業		
事業期間	1963(S38)年度			年度	~			年度まで		
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市補助金等交付規則、決裁									
関係補助金名称	スポーツ少年団活動補助金						サンセット	2020(R2)年度		2022(R4)年度
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット	枚方市スポーツ少年団の各団体に所属する児童								
	サブターゲット	枚方市スポーツ少年団の各団体の指導者								
	ターゲットが抱える課題	子どもたちが日常的にスポーツに接する機会が不足する。								
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	スポーツ少年団の活動が活発になることにより、子どもがスポーツを楽しめる環境がより充実した状態。									
事業概要	少年にスポーツに接する機会を与え、より多くのスポーツを通じ身体的・精神的両面の健全育成に寄与することを目的として、スポーツ少年団活動がより活発となるよう支援を行う。少年団は、市内の3歳以上の団員10人以上と満20歳以上の指導者により構成される。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	目標をもって継続的に多くの団員がスポーツを楽しむことができる。				アウトプット(活動結果)	支援を受けてスポーツ少年団の活動が活発となり、大会・イベントが開催される。				インプット(活動)	事業を行うスポーツ少年団に対して補助金を交付する。			
	指標説明	令和元年度を基準とした登録団員数の増減率 【算出式:(当該年度における登録団員数-令和元年度における登録団員数(1061人))/令和元年度における登録団員数×100】				大会・イベントの回数				補助金が交付されるスポーツ少年団を構成する種目数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	▲1.50	0	0	0	11	11	11	11	6	6	6	6		
	実績	▲19	▲22.81			3	4			6	5				
達成度	0%				36%				83%						
分析	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で大会等が中止となり、一部活動ができなことから団員数が減少した。				令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で大会等が一部中止となったが、実施できた大会もあった。				日本拳法を種目とする唯一の団が、団員不足によりスポーツ少年団の登録更新を行わなかったため、構成種目数が1種目減少した。						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.25
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,004	1,994	1,964		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	100	0	183		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	2,104	1,994	2,147		
	物件費計	250	17	37	250	15%
	歳出計	2,354	2,011	2,184		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	2,354	17	37	250	

5. 総括的分析

総括的分析 令和3年度は令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、予定していた事業の一部を中止した。大会実施状況が改善した一方で、登録団員数が前年度に引き続き減少している原因としては、団員登録期間である6～7月頃の時点では大会が始動しておらず、団員やその保護者は前年度の大会実施状況を踏まえて登録するかどうかを決めることから、令和2年度に大半の大会を中止したことを受けて、令和3年度の登録を見合わせる人が多かったと考えられる。事業の一部中止に伴い、補助金の一部が支出不要となり、精算を行った。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続きアフターコロナを見据え、感染対策の上での大会の実施方法の共有や、小規模で分散した大会の日程調整等も含め、スポーツ少年団本部に助言等を行う形で支援していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	スポーツ振興課所管体育施設維持管理事業											
測定年度	2021(R3)年度				部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名											
1. 事務事業の概要												
種類	内部管理			特性			内部事務			区分		一般内部管理事務
事業期間	不明			年度	~					年度まで		
根拠法令等	スポーツ基本法、淀川河川敷グラウンドの貸出しに関する要綱、決裁											
関係補助金名称												サンセット
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		淀川河川敷グラウンドの利用者									
	サブターゲット		ゲートボール場の利用者									
	ターゲットが抱える課題		日常的にスポーツを楽しめる場が不足している。									
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。											
事業概要	日常的にスポーツを行える施設を維持し、この環境整備を通じてスポーツの振興を図るため、淀川河川敷グラウンド(磯島・牧野)、ゲートボール場の維持管理を実施する。淀川河川敷グラウンドは、国の許可を得て、市民団体に貸し出しており、ゲートボール場は、施設ごとに使用者(地域団体)と協定を締結し、日常的な維持管理は使用者が行う。											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						淀川河川敷グラウンドやゲートボール場が適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。		
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	指標説明				施設の不備等による事故件数				施設保全や保守点検に関する対応予定件数			
	単位				単位				単位			
	指標種類				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4
目標 (見込み)					0	0	0	0	7	7	7	7
実績					0	0			6	7		
達成度					100%				100%			
分析					保守点検及び日常的な維持管理を適切に行い、施設の不備等による事故件数は0件であった。				適切な施設維持管理及び保守点検を実施した。			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.01
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,603	2,881	3,131		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	19		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	1,603	2,881	3,150		
	物件費計	3,520	3,064	5,436	5,685	96%
	歳出計	5,123	5,945	8,586		
歳入	国庫支出金	0	0	404	433	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	404	433	
	一般財源	5,123	3,064	5,032	5,249	

5. 総括的分析

総括的分析	施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数が0件であった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き効果的・効率的な事業実施ができるよう適時モニタリングを実施し、適切に施設の維持管理を行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	トップアスリートとのふれあい事業										
測定年度	2021 (R3) 年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名		17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、決裁				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	これからスポーツに興味を持つまたは現在継続的にスポーツを実施している子ども。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市内でトップアスリートとふれあい、プレーを間近に見る機会が限られている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	子どもたちがトップアスリートとふれあったり、トップレベルのプレーを間近に見る機会を多く持つことにより、スポーツへの関心を高め、スポーツを通じて夢を持った状態。				
事業概要	青少年の健全な育成、子どもたちにスポーツに対する関心を高めるとともに、子どもたちの夢を育むため、トップアスリートとのふれあい事業を実施する。他に市民スポーツ賞等の表彰等を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	子どもたちのスポーツに対する関心が高まるとともに、子どもたちの夢が育まれる。				アウトプット (活動結果)	子どもたちが、トップアスリートとのふれあいや、トップレベルのプレーを間近に見ることができる。				インプット (活動)	トップアスリートを招聘して子どもたちと触れ合う機会を作る。			
	指標説明	参加者満足度(アンケート調査)				参加人数	実施回数								
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	0	80	80	80	0	141	148	155	0	2	2	2		
	実績	0	0			0	0			0	0				
	達成度	0%				0%				0%					
分析	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で事業が実施できなかった。				令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で事業が実施できなかった。				令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で事業が実施できなかった。						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,603	0	0		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	1,603	0	0		
	物件費計	1,287	0	0		—	
歳出計		2,890	0	0			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	1,287	0	0	0		
	歳入計	1,287	0	0	0		
一般財源		1,603	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で事業が実施できなかった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	子どもたちがトップアスリートとふれあう機会を創出するため、コロナ禍でも事業が実施できるよう、事業内容について検討を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	スポーツ推進委員関係事務													
測定年度	2021(R3)年度				部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名		17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進											
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理			特性			庶務的事務			区分		庶務的内部管理事務		
事業期間	1962(S37)年度				年度	~		年度まで						
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市スポーツ推進委員に関する規則、決裁													
関係補助金名称												サンセット	-	
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		各 地域等を代表するスポーツ推進委員											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		スポーツ推進委員による地域におけるスポーツ活動の活性化											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	スポーツ推進委員が実施するスポーツイベント、情報提供、アドバイスにより地域住民がスポーツに親しみやすくなる。													
事業概要	市内45小学校区にスポーツ推進委員を委嘱し、社会体育の普及・振興を図り、地域社会の充実と発展を期することを目的として、スポーツ基本法に基づき委嘱されたスポーツ推進委員が地域住民のスポーツに関して指導助言を行い、生涯スポーツの普及振興を図っていく。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
指標設定	指標説明		単位				単位				単位			
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績												
	達成度													
	分析													

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.25
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	46.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,004	1,994	1,964		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	5,468	0	0		
	特別職非常勤	—	0	5,216		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	7,472	1,994	7,180		
物件費計	15	15	15	15	100%	
歳出計	7,487	2,009	7,195			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源	7,487	15	15	15		

5. 総括的分析

総括的分析 令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域でのイベント実施が限られた。令和2年度は中止としたウォーキングイベントと親子グラウンドゴルフイベントについては、ウォーキングイベントのみ実施することができた。また、情報発信等を含めた今後の活動について検討を進めた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、地域スポーツの機会を創出し、アフターコロナを見据えた活動内容や効果的な情報発信について検討を行うことで、生涯スポーツの普及促進を図っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称													伊加賀スポーツセンター維持管理事業												
測定年度				2021(R3)年度				部		観光にぎわい部				課		スポーツ振興課									
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4															
総合計画体系				基本目標									3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち												
				施策目標									17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち												
				実行計画名																					
1. 事務事業の概要																									
種類		内部管理				特性		内部事務				区分		一般内部管理事務											
事業期間		2013(H25)年度				年度		~		年度まで															
根拠法令等													スポーツ基本法、枚方市立伊加賀スポーツセンター条例、枚方市立伊加賀スポーツセンター条例施行規則、枚方市立伊加賀スポーツセンター使用料に関する規則												
関係補助金名称													サンセット												
関係附属機関名称																									
事業対象		メインターゲット		伊加賀スポーツセンターの利用者																					
		サブターゲット																							
		ターゲットが抱える課題		伊加賀スポーツセンターの利用者が安全に利用できるよう環境整備されることが求められている。																					
		ターゲットが抱える課題																							
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。																							
事業概要		伊加賀スポーツセンターの維持管理及びこれによるスポーツ振興を図ることを目的として、伊加賀スポーツセンターの指定管理者による効果的・効率的な管理運営を行うとともに、指定管理者が実施する各種スポーツ教室によるスポーツ機会を提供する。																							
2. ロジックモデル及び指標設定																									
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)															
						伊加賀スポーツセンターが適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。															
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)															
		指標説明						施設の不備等による事故件数				施設保全や保守点検に関する対応予定件数													
		指標種類		単位		単位		件		単位		件													
				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標																	
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5										
		実績						0	0	0	0	3	3	3	3										
		達成度						100%				33%													
分析						保守点検及び日常的な維持管理を適切に行い、施設の不備等による事故件数は0件であった。				保全計画等に基づき、適切な施設維持管理及び保守点検を実施した。															

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,717	5,273	4,183		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	100	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	3,817	5,273	4,183		
	物件費計	38,366	42,821	38,972	46,489	84%
	歳出計	42,183	48,094	43,155		
歳入	国庫支出金	1,011	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	1,520	1,520	1,079	1,532	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	2,531	1,520	0	0	
	一般財源	39,652	41,301	38,972	46,488	

5. 総括的分析

総括的分析 施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数が0件であった。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き保全計画等に基づき、効果的・効率的な事業実施ができるよう適時モニタリングを実施し、適切に施設の維持管理を行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	野外活動センター利用促進事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名		17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性		選択的事业		区分		一般事務事業				
事業期間	不明		年度		~		年度まで						
根拠法令等	スポーツ基本法、決裁												
関係補助金名称											サンセット		
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット		学校キャンプを利用する小中学校の児童・生徒										
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題		自然の中での体験学習の機会が不足する。										
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	学校キャンプの利用数が増え、利用した子どもたちが別の機会に施設利用することで、施設の活性化が図られ、より多くの青少年の健全育成が図られた状態。												
事業概要	野外活動センターの利用増を目指し、学校キャンプ(日帰り・宿泊)について、企画段階からサポートを行い、学校ニーズに対応した学校キャンプの促進を図る「学校キャンプ支援事業」を実施する。(平成26年度は試行。平成27年度から本格実施。)												

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
ロジックモデル		利用者の子どもたちが別の機会に利用するなど、施設利用が底上げされ、施設の活性化が図られる。				支援を行った小中学校の児童・生徒が学校キャンプに参加する。				学校ニーズに対応した学校キャンプの支援を行う。				
指標設定	指標説明	施設の市内小中学生等の利用者数(日帰り・宿泊)				支援した小学校数				小・中学校を対象としたバス配車件数				
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績	6,510	6,510	6,510	6,510	18	18	18	18	23	23	23	23
	達成度	61%				117%				91%				
	分析	新型コロナウイルス感染症の影響により目標に達しなかったが、令和2年度と比較して施設利用中止期間が短かったため、利用者数が増加した。				(学校キャンプに参加した学校数で算出)令和2年度と比較して施設利用中止期間が短かったため、利用校数が増加した。				令和2年度と比較して施設利用中止期間が短かったため、利用校数が増加した。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,464	6,120	4,957		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,531	0	3,368		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	7,995	6,120	8,325		
	物件費計	3,401	2,891	4,176	3,913	107%
	歳出計	11,396	9,011	12,501		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	644	0	2,014	3,198	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	391	468	644	
	歳入計	644	391	2,482	3,842	
	一般財源	10,752	2,500	1,694	71	

5. 総括的分析

総括的分析 令和2年度と比較して施設利用中止期間が短かったため、利用者数・利用学校数が増加した。また、コロナ禍における学校行事及び余暇活動の場として、市内かつ感染リスクが比較的低い屋外での活動を主とする施設の需要が高まったと考えられる。また、令和2年度末のホームページリニューアルや予約システムの簡便化、市SNSを活用した情報発信等により、利用者が増加しているものと思われる。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、より多くの学校に利用してもらえるよう、施設のプログラムについて民間発想を取り入れるなどの充実を図るとともに、効果的な情報発信について検討していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	渚市民体育館維持管理事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2006(H18)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市公の施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例、枚方市立市民体育館条例、枚方市立市民体育館条例施行規則、枚方市立市民体育館使用料に関する規則				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	渚市民体育館の利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	渚市民体育館の利用者が安全にできるよう環境整備されることが求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。				
事業概要	渚市民体育館の維持管理及びこれによるスポーツ振興を図ることを目的に、渚市民体育館の指定管理者による効果的・効率的な管理運営を行うとともに、指定管理者が実施する各種スポーツ教室によるスポーツ機会を提供する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	渚市民体育館が適正に維持管理される。				インプット (活動)	必要な施設保全や保守点検を行う。			
	指標説明					アウトカム (活動効果)	施設の不備等による事故件数				インプット (活動)	施設保全や保守点検に関する対応予定件数			
指標設定	指標種類	単位				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)					0	0	0	0	5	5	5	5		
	実績					0	0			4	5				
	達成度					100%				100%					
分析					保守点検及び日常的な維持管理を適切に行い、施設の不備等による事故件数は0件であった。				保全計画等に基づき、適切な施設維持管理及び保守点検を実施した。						

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,717	5,273	4,183		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	100	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	3,817	5,273	4,183		
	物件費計	57,947	107,507	73,546	83,447	88%
	歳出計	61,764	112,780	77,729		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	1,515	1,515	1,099	1,561	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	1	1	0	
	歳入計	1,515	1,516	0	0	
	一般財源	60,249	105,991	73,546	83,444	

5. 総括的分析

総括的分析 施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数が0件であった。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き保全計画等に基づき、効果的・効率的な事業実施ができるよう適時モニタリングを実施し、適切に施設の維持管理を行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	総合スポーツセンター維持管理事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2006(H18)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市公の施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例、枚方市立総合スポーツセンター条例、枚方市立総合スポーツセンター条例施行規則、枚方市立総合スポーツセンター使用料に関する規則				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	総合スポーツセンターの利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	総合スポーツセンターの利用者が安全に利用できるよう環境整備されることが求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。				
事業概要	総合スポーツセンターの維持管理及びこれによるスポーツ振興を図ることを目的に、総合スポーツセンターの指定管理者による効果的・効率的な管理運営を行うとともに、指定管理者が実施する各種スポーツ教室によるスポーツ機会を提供する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						総合スポーツセンターが適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。			
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明					施設の不備等による事故件数				施設保全や保守点検に関する対応予定件数			
	指標種類	単位				単位 件				単位 件			
	指標数値	R2 R3 R4 R5				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	目標(見込み)					0 0 0 0				8 8 8 8			
	実績					0 0				8 3			
達成度					100%				38%				
分析					保守点検及び日常的な維持管理を適切に行い、施設の不備等による事故件数は0件であった。				令和2年度と比較して改修工事等の予定が少なかった。保全計画等に基づき、適切な施設維持管理及び保守点検を実施した。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,717	5,273	4,183		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	100	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	3,817	5,273	4,183		
	物件費計	188,469	265,386	93,548	106,090	88%
	歳出計	192,286	270,659	97,731		
歳入	国庫支出金	0	924	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	1,952	1,956	2,409	3,422	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	1,952	2,880	2,409	3,422	
	一般財源	190,334	262,506	91,139	102,668	

5. 総括的分析

総括的分析 施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数が0件であった。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き保全計画等に基づき、効果的・効率的な事業実施ができるよう適時モニタリングを実施し、適切に施設の維持管理を行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称													東部公園野球場維持管理事業			
測定年度		2021(R3)年度				部		観光にぎわい部				課		スポーツ振興課		
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4						
総合計画体系		基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち												
		施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち												
		実行計画名														
1. 事務事業の概要																
種類		内部管理				特性		内部事務				区分		一般内部管理事務		
事業期間		不明				年度		~				年度まで				
根拠法令等		スポーツ基本法、枚方市都市公園条例、枚方市都市公園条例施行規則、ひらかた東部スタジアム(東部公園野球場)運営に関する内規														
関係補助金名称						サンセット										
関係附属機関名称																
事業対象		メインターゲット		東部公園野球場の利用者												
		サブターゲット														
		ターゲットが抱える課題		東部公園野球場の利用者が安全に利用できるよう環境整備されることが求められている。												
		ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。														
事業概要		野球場の不足に対応し、市民のスポーツ活動を支援することを目的として、硬式野球ができる野球場の整備や施設維持を行うとともに、管理運営に必要な備品について整備する。														
2. ロジックモデル及び指標設定																
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)						
						東部公園野球場が適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。						
指標説明		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)						
						施設の不備等による事故件数				施設保全や保守点検に関する対応予定件数						
指標設定		指標種類		単位		単位		件		単位		件				
						減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標						
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		実績						0	0	0	0	4	4	4	4	
達成度										50%						
分析						保守点検及び日常的な維持管理を適切に行い、施設の不備等による事故件数は0件であった。				保全計画等に基づき、適切な施設維持管理及び保守点検を実施した。						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,113	2,083	2,611		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	100	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	2,213	2,083	2,611		
	物件費計	11,677	10,408	12,402	14,629	85%
	歳出計	13,890	12,491	15,013		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	3,270	2,490	3,770	3,270	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	3,270	2,490	3,770	3,270	
	一般財源	10,620	7,918	8,632	11,344	

5. 総括的分析

総括的分析	施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数が0件であった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	引き続き、保全計画等に基づいた効果的・効率的な事業実施ができるよう、適時モニタリングを実施し、適切に施設の維持管理を行っていく。また、令和5年からの他公園との一括指定管理に向け、みち・みどり室と連携して現状課題の整理を行い、協議を進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方市スポーツ協会加盟団体活動補助事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進									
1. 事務事業の概要											
種類	市民サービス			特性	選択的事业			区分	一般事務事業		
事業期間	不明			年度	~				年度まで		
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁										
関係補助金名称	体育団体活動補助金						サンセット	2020(R2)年度		2022(R4)年度	
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会の各加盟団体に所属する人									
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題	大会の開催や市民を対象とした講習会・体験イベントなどスポーツに親しむことができる環境が求められている。また、競技普及の機会が不足している。									
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	団体独自の大会が多く開催されることで、競技者が目標を持って競技に取り組むことができ、競技力が向上していく状態。また、講習会・イベントを実施することで団体登録者や大会参加者増加につながり、各団体の活動が活発になることで市民にとっても年齢や興味または関心に応じた種目を選択し、生涯にわたってスポーツに親しむ環境が充実している状態。										
事業概要	市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方市体育協会に加盟する団体に補助金を交付し、活動の補助を行うことを目的として、スポーツ振興を進めるうえで、公益財団法人枚方市スポーツ協会に加盟する各団体の活動に対して、毎年補助金の支出を行っている。										

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		競技者が目標を持って競技に取り組み、競技力が向上する。				団体主催のスポーツ教室を開催するなど、活動が活性化する。				事業を行う加盟団体に補助金を交付し、活動を支援する。			
指標説明		加盟団体が主催・共催するスポーツ教室等の参加人数				加盟団体主催・主管のスポーツ教室実施回数				補助金交付団体数			
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	-	830	871	914	27	27	27	27	27	27	27	27
	実績	-	830			27	51			27	27		
	達成度	100%				189%				100%			
分析		各スポーツ教室の参加人数を増加させることで、スポーツ機会の創出につなげる。				令和2年度と比較して、施設の利用中止期間が少なかったため、実施できる教室数が増加したが、各団体で予定している教室数を達成することができなかった。				加盟団体数は令和2年度から変化なし。			

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	802	798	786		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	802	798	786		
	物件費計	70	615	555	675	82%
	歳出計	872	1,413	1,341		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	872	615	555	675	

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各団体が当初予定していた大会や教室等イベントの一部を中止とした。令和2年度と比較して、令和3年度は施設利用中止期間が少なかったため、大会や教室等の開催回数は増加した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、対象事業を名確認した上で、公益財団法人枚方市スポーツ協会に加盟する各団体の活動に対して補助を行い、各団体の活動の活性化を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	民間スポーツ施設開放事業											
測定年度	2021(R3)年度			部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名		17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1988(S63)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	民間施設等活用推進実施要綱、決裁				
関係補助金名称			サンセット		
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	開放する民間体育施設の利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	日常的にスポーツを楽しめる場が不足している。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	公共のスポーツ施設と合わせて利用されることにより、より多くの市民にスポーツ活動の場を提供でき、市民の体力向上や健康増進につながった状態。				
事業概要	企業等の協力のもとに、提供可能なスポーツ施設を広く市民に開放することにより、スポーツ活動の場の充実を図る。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
ロジックモデル		公共のスポーツ施設の利用状況が緩和し、安全かつ快適な利用環境が整う。				立地や設備なども踏まえ、スポーツを好む市民が民間体育施設を利用する。				民間スポーツ施設を市民に開放する。				
指標設定	指標説明	申込件数				開放件数				協力企業数				
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績	2,070	2,080	2,090	2,100	5,489	5,516	5,543	5,570	4	4	4	4
	達成度	72%				66%				100%				
	分析	令和2年度と比較して施設開放件数が増加したため、申込件数も増加した。				令和2年度と比較して、新型コロナウイルス感染症の影響による施設中止期間が短かったため、開放件数が増加した。				令和2年度と同様の企業数となった。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	802	798	1,571		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	802	798	1,571		
	物件費計	6,027	5,542	4,430	4,903	90%
	歳出計	6,829	6,340	6,001		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	6,829	5,542	4,430	4,903	

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度と比較して、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による施設の開放中止の期間が短かったため、開放件数・申込件数ともに増加した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	各協力企業と連携しながら引き続き民間体育施設の開放を行うとともに、新規開拓を進めていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	野外活動センター維持管理事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標			3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標			17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理			特性	内部事務				区分	一般内部管理事務				
事業期間	1970(S45)年度				年度	~				年度まで				
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市野外活動センター条例、枚方市野外活動センター条例施行規則、枚方市野外活動センター使用料に関する規則													
関係補助金名称	サンセット													
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット			野外活動センターの利用者										
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題			野外活動センターの利用者が安全に利用できるよう整備されることが求められている。										
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。													
事業概要	野外活動センターを維持管理し、市民の余暇の活用と青少年の健全育成を図ることを目的に、平成21年度からは閑散期の施設運営や所内各施設の老朽化に伴う整備、進入路整備などの諸課題を市で整理するために、直営で管理運営を実施している。各種キャンプ教室や天体観測棟(ステラホール)を活用した天文教室、竹のクラブなどの主催事業を実施し、市民の余暇活動や自然と触れ合う機会を提供している。直営で管理運営するにあたり、施設使用の受付業務やキャンプカウンセラーに関する業務、主催事業実施については、公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託し実施している。													

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
							野外活動センターが適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。			
指標設定	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明						施設の不備等による事故件数				施設保全や保守点検に関する対応予定件数			
	指標種類	単位					単位 件				単位 件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	目標(見込み)					0	0	0	0	18	18	18	18	
	実績					0	0			17	18			
達成度						100%				100%				
分析						保守点検及び日常的な維持管理を適切に行い、施設の不備等による事故件数は0件であった。				保全計画等に基づき、適切な施設維持管理及び保守点検を実施した。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.90
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.65
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,662	5,322	5,477		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,531	0	2,189		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	7,193	5,322	7,666		
	物件費計	86,809	53,904	66,505	69,357	96%
	歳出計	94,002	59,226	74,171		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	7,033	2,817	278	394	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	850	1,526	1,913	
	歳入計	7,033	3,667	1,525	1,913	
	一般財源	86,969	50,237	64,980	67,140	

5. 総括的分析

総括的分析	施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数が0件であった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	引き続き保全計画等に基づき、効果的・効率的な事業実施ができるよう適時モニタリングを実施し、適切に施設の維持管理を行っていく。併せて、随意契約が多い現状を見直し、民間の発想を活かした効果的・効果的な施設運営を目指す。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市民スポーツ応援サポート事業補助事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名		17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁				
関係補助金名称	市民スポーツ応援サポート事業補助金			サンセット	2020(R2)年度 - 2022(R4)年度
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会
	サブターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会各事業への参加者
	ターゲットが抱える課題	公益財団法人枚方市スポーツ協会の目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施することができない。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)
 公益財団法人枚方市スポーツ協会が各種事業を実施することにより、「見る」「する」「支える」の各分野で市民のスポーツ参加機会の拡充、多様なスポーツニーズへの対応等が十分に行われている状態。

事業概要
 ◎スポーツ応援事業
 枚方市が世界大会や全国大会出場する選手や団体の応援を行う際や、優勝セレモニーや報告会等を実施する際にサポートを行うとともに、枚方市が連携するスポーツ団体の市民応援事業の募集や受付を実施するなど、市民へ広く情報提供を行う。また、優秀選手や団体の情報収集やセレモニー実施に向けての連絡調整を行う。
 ◎スポーツ情報提供事業
 ホームページやSNSにおいて情報発信するために、情報内容や企画、広報、情報提供を行い、継続的にスポーツの普及・啓発を推進する。また、スポーツ図書やスポーツビデオ・DVDの貸出を無料で行う。

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	多様なスポーツニーズへの対応により、スポーツ参加機会が拡充されている。	スポーツ協会が各事業を十分な規模、内容で実施するなど、活動が活性化する。	事業を行うスポーツ協会に補助金を交付し、活動を補助する。	
指標設定	指標説明	市の広報またはSNSに掲載された市長表敬及び全国大会応援事業関連記事の数	市長表敬調整及びスポーツ応援事業の実施回数	補助金に係る当初予算額に対する決算額の割合【算出式:決算額/当初予算額×100】
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位: 回	単位: 回	単位: %
	達成度	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	分析	新型コロナウイルス感染症の影響により大多数の大会が中止された令和2年度と比較して、令和3年度は実施された大会数が多かったため、市長表敬等の回数が増加し、発信回数も増加した。	新型コロナウイルス感染症の影響により大多数の大会が中止された令和2年度と比較して、令和3年度は実施された大会数が多かったため、市長表敬、スポーツ応援事業実施回数も増加した。	補助対象事業に対して、補助金を交付した。
	実績	20 20 20 20	20 20 20 20	100 100 100 100
実績	5 14	5 14	97 98	
達成度	70%		70%	98%

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	401	798	786		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	401	798	786		
	物件費計	3,242	1,935	2,851	2,895	98%
	歳出計	3,643	2,733	3,637		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	3,643	1,935	2,851	2,895	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により大多数の大会が中止された令和2年度と比較して、令和3年度は実施された大会数が多かったため、市長表敬、スポーツ応援事業実施回数も増加した。優勝報告会や市長表敬等をSNSで発信することで、市民のスポーツへの関心を高めた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	全国大会等で活躍する市民の情報を発信することで、市民のスポーツへの関心を高め、より多くの市民に参加機会を提供することができるため、継続して補助金の交付を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	地域・競技スポーツコンサルティング事業補助事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名		17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性		選択的事业				区分		一般事務事業			
事業期間	不明				年度	~		年度まで						
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁													
関係補助金名称	地域・競技スポーツコンサルティング事業補助金							サンセット	2020(R2)年度		2022(R4)年度			
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		公益財団法人枚方市スポーツ協会											
	サブターゲット		公益財団法人枚方市スポーツ協会各事業への参加者											
	ターゲットが抱える課題		公益財団法人枚方市スポーツ協会の目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施することができない。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公益財団法人枚方市スポーツ協会が各種事業を実施することにより、「見る」「する」「支える」の各分野で市民のスポーツ参加機会の拡充、多様なスポーツニーズへの対応等が十分に行われている状態。													
事業概要	市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する下記事業に補助金を支出し、活動の補助を行う。 ◎地域スポーツ・競技スポーツコンサルティング事業 地域(PTA等)や障害者団体のスポーツイベント開催に際し、専門的な知識を活かして企画・運営のコーディネートを行うとともに、ノウハウを持ったスタッフをスポーツボランティアとして派遣するなど、地域スポーツを総合的にコンサルティングする。 また、市等が行う健康増進イベントへも企画提案や支援を行うほか、ニュースポーツの普及や指導者育成に関する助言も行う。													

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	多様なスポーツニーズへの対応により、スポーツ参加機会が拡充されている。				スポーツ協会がスポーツ機会の提供を行い、市民の健康づくりを支援する。				事業を行うスポーツ協会に補助金を交付し、活動を補助する。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	令和元年度を基準とした参加者の増減率 【算出式:(当該年度におけるイベント参加者数-令和元年度におけるイベント参加者数1721人)/令和元年度におけるイベント参加者数×100】				誰もが障害者とともに参加できるスポーツイベントの参加者数				地域スポーツへのコーディネート、コンサルティング実施回数					
	指標種類		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)		1	2	3	4	2,150	2,170	2,190	2,210	9	9	10	11
	実績		0	10			0	1,905			7	9		
達成度		500%				88%				100%				
分析		新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止となったイベントもあったが、実施できたイベントについては令和元年度より参加者数が増加した。				新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止となったイベントもあったが、実施できたイベントについては参加者数が増加した。				新規のコンサルティング案件にも対応し、実施回数が令和2年度と比較して増加した。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	401	798	786		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	401	798	786		
	物件費計	2,527	2,756	2,810	2,964	95%
	歳出計	2,928	3,554	3,596		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	2,928	2,756	2,810	2,964	

5. 総括的分析

総括的分析 新型コロナウイルス感染症拡大の影響でトリプルバトミントン等の一部のイベントが中止となったが、開催できたイベントについては、コロナ以前の令和元年度と比較して参加者数が増加した。また、新興スポーツの普及や各団体の育成支援のため、専門的な知識を活かしたコーディネートを行うことで、市民のスポーツ参加機会の拡充へつなげた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	団体・地域ごとの多様なニーズに対応したイベント開催及びコンサルティングにより、市民のライフステージに応じたスポーツ機会を提供することを目的として、継続して補助金の交付を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	スポーツサポーターズバンク事業補助事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名		17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進											
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性			選択的事业			区分		一般事務事業		
事業期間	不明			年度			~			年度まで				
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁													
関係補助金名称	スポーツサポーターズバンク事業補助金							サンセット	2021(R3)年度		-		2023(R5)年度	
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		公益財団法人枚方市スポーツ協会											
	サブターゲット		公益財団法人枚方市スポーツ協会各事業への参加者											
	ターゲットが抱える課題		公益財団法人枚方市スポーツ協会の目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施することができない。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公益財団法人枚方市スポーツ協会が各種事業を実施することにより、市民の中から発掘・育成された指導者や支援者が様々な活動に派遣されて活躍することで、指導者・支援者の活躍する場が広がり、指導・支援を受けることにより市民のスポーツに触れる機会が増えている状態。													
事業概要	市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する下記事業に補助金を支出し、活動の補助を行う。スポーツサポーターズバンク事業として、指導者や支援者の育成に係る講習会を実施。育成した指導者や支援者に定期的に指導方法のフォローアップ研修を行い指導者や支援者の資質向上に努める。 また、市民のニーズに合わせ指導者を派遣するとともに、中学校部活動などへ指導者の派遣や支援を行い、主にスポーツリーダー(支援者)育成やスポーツインストラクター(指導者)育成、スポーツ指導者・支援者フォローアップ、スポーツ指導者派遣事業などを行う。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	発掘・育成された指導者や支援者が様々な活動に派遣され、活躍する。				スポーツ協会が各事業を十分な規模、内容で実施し、指導者や支援者を発掘・育成する。				事業を行うスポーツ協会に補助金を交付し、活動を補助する。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	発掘・育成された指導者や支援者の派遣回数				講習会等の参加者数				補助金に係る当初予算額に対する決算額の割合【決算額/当初予算額×100】					
	単位				単位				単位					
	回				回				%					
	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標種類	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	指標数値	1	66	69	72	60	117	122	128	100	100	100	100	
達成度	45%				154%				97%					
分析	令和2年度と同程度の派遣を実施し、市民のスポーツ機会の創出につなげた。				オンライン開催と対面での開催を併用実施することで、令和2年度の5倍の参加があった。				事業計画に基づいた補助対象事業に対して、補助金の交付を行った。					

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	802	798	786		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	802	798	786		
	物件費計	5,093	5,280	5,306	5,479	97%
	歳出計	5,895	6,078	6,092		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	5,895	5,280	5,306	5,479	

5. 総括的分析

総括的分析	各講習会の実施手法を見直し、オンラインでの開催と対面開催を併用実施することで、令和2年度と比較して参加者数が5倍となった。また、多くの指導者育成を行うことで、指導者の活躍の場が広がり、市民のスポーツ機会の創出につながった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	地域の人材育成に資する事業であり、指導者が活躍することで、市民のスポーツ活動の振興を図る事業であるため、継続して補助金の交付を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														健康スポーツ普及事業補助事業													
測定年度				2021(R3)年度				部				観光にぎわい部				課				スポーツ振興課							
市長公約との関係				所信表明				市政運営方針				R2				R3				R4							
総合計画体系				基本目標				3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち																			
				施策目標				17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち																			
				実行計画名				17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進																			
1. 事務事業の概要																											
種類				市民サービス				特性				選択的事业				区分				一般事務事業							
事業期間				不明				年度				~				年度まで											
根拠法令等														枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁													
関係補助金名称				健康スポーツ普及事業補助金				サンセット				2021(R3)年度				2023(R5)年度											
関係附属機関名称																											
事業対象				メインターゲット				公益財団法人枚方市スポーツ協会																			
				サブターゲット				公益財団法人枚方市スポーツ協会各事業への参加者																			
				ターゲットが抱える課題				公益財団法人枚方市スポーツ協会の目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施することができない。																			
				ターゲットが抱える課題																							
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)				枚方市スポーツ協会が各種事業を実施することにより、「見る」「する」「支える」の各分野で市民のスポーツ参加機会の拡充、多様なスポーツニーズへの対応等が十分に行われている状態。																							
事業概要				市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する下記事業に補助金を支出し、活動の補助を行う。健康スポーツ普及事業として、健康増進や高齢者の介護予防の取り組みとして、地域展開における楽10体操やボディバランスチェック体験、朝活ストレッチ教室などの事業を実施。加盟団体による競技スポーツの普及振興を図るため、スポーツ教室を実施するとともに、専門委員会を組織し、スポーツ教室事業の内容等を検討し、ニーズに即した展開を実施していく。また、枚方市内の企業への健康経営の取り組みとしてオーダーメイドプログラム(健康パッケージ)の提供を行っていくことで、枚方市の健康増進を進める。																							
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル				アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)															
				各々のニーズに応じた事業に参加し、健康増進や高齢者介護予防のきっかけとする。				スポーツ協会が各事業を十分な規模、内容で実施し、スポーツ体験を通じた啓発、知識の普及等を行う。				事業を行うスポーツ協会に補助金を交付し、活動を補助する。															
指標設定				アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)															
				指標説明				令和元年度を基準とした参加者数増減率【算出式:(当該年度における各事業参加者数-令和元年度における各事業参加者数(5382人))/令和元年度における各事業参加者数×100】				各事業参加者数				補助金に係る当初予算額に対する決算額の割合【決算額/当初予算額×100】											
				指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標											
				指標数値				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5											
				目標(見込み)				1 2 3 4				6,835 6,835 6,869 6,903				100 100 100 100											
				実績				▲ 57.80 9.98				2,271 5,919				98 99											
達成度				110%				87%				99%															
分析				オンライン開催と対面での開催を併用実施することで、令和元年度と比較して約10%参加者数が増加した。				オンライン開催と対面での開催を併用実施することで、令和2年度の2倍以上の参加があった。				事業計画に基づいた補助対象事業に対して、補助金の交付を行った。															

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	802	798	786		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	802	798	786		
	物件費計	12,028	12,704	12,885	13,050	99%
	歳出計	12,830	13,502	13,671		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	12,830	12,704	12,885	13,050	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一部の事業は中止となったが、実施手法を見直し、オンラインでの開催と対面開催を併用実施することで、令和2年度と比較して参加者数が倍増した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	市民を対象とした教室の通年実施や、健康経営を考える企業を対象とした指導者派遣の実施など、引き続き市内のスポーツ普及のために細やかなニーズに対応した事業を展開する、継続して補助金の交付を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市民オリンピック事業補助事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名		17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性		選択的事业		区分		一般事務事業				
事業期間	不明				年度	~		年度まで					
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁												
関係補助金名称	市民オリンピック事業補助金						サンセット	2021(R3)年度		2023(R5)年度			
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット		公益財団法人枚方市スポーツ協会										
	サブターゲット		公益財団法人枚方市スポーツ協会各事業への参加者										
	ターゲットが抱える課題		公益財団法人枚方市スポーツ協会の目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施することができない。										
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	公益財団法人枚方市スポーツ協会が市民オリンピックを実施することで、参加者がイベントをきっかけに、オリンピック等大規模な大会終了後も継続して様々なスポーツ活動に取り組む状態。												
事業概要	市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する下記事業に補助金を支出し、活動の補助を行う。市民オリンピック事業として、東京2020オリンピック・パラリンピックの啓発事業である「ひらかた市民オリンピック」を開催。現在は小学生を中心に大人の方も参加する運動会形式で実施しており、東京2020オリンピック終了後も、スポーツ熱を継続していけるように、より多くの市民の皆さんが参加できるイベントを企画し、事業を継続していく。												

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	イベントを実施することで、様々なスポーツ活動に継続的に取り組むきっかけとする。				スポーツ協会により十分な規模・内容のイベントが実施され、多くの世代が参加する。				事業を行うスポーツ協会に補助金を交付し、活動を補助する。			
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	令和元年度を基準としたイベント参加者数増減率 【算出式:(当該年度における参加者数-令和元年度における参加者数(167人))/令和元年度における参加者数×100】				イベント参加者数				補助金に係る当初予算額に対する決算額の割合【決算額/当初予算額×100】			
	単位				単位				単位			
	%				人				%			
	指標種類				指標種類				指標種類			
	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)	0	2	3	4	240	184	193	202	100	100	100	100
実績	0	0			0	0			88	0		
達成度	0%				0%				0%			
分析	令和3年度は実施しなかった。				令和3年度は実施しなかった。				令和3年度は実施しなかった。			

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	802	798	0	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	0	0	
		附属機関委員	—	0	0	
		人件費計	802	798	0	
	物件費計	998	1,097	0		
歳出計		1,800	1,895	0		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		1,800	1,097	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度は東京2020オリンピック・パラリンピックの実施年だったため、例年通りの市民オリンピック事業ではなく、オリンピック・パラリンピック関連事業として実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、オリンピック・パラリンピック関連事業も中止となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	アフターコロナを見据えた実施内容の検討について助言を行いながら、事業に対する補助金の交付を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	新春走ろうかい事業補助事業															
測定年度	2021(R3)年度				部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課					
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4								
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち													
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち													
	実行計画名		17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進													
1. 事務事業の概要																
種類	市民サービス				特性				選択的事业				区分		一般事務事業	
事業期間	不明				年度		~		年度まで							
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁															
関係補助金名称	新春走ろうかい事業補助金								サンセット	2021(R3)年度		-		2023(R5)年度		
関係附属機関名称																
事業対象	メインターゲット		公益財団法人枚方市スポーツ協会													
	サブターゲット		公益財団法人枚方市スポーツ協会各事業への参加者													
	ターゲットが抱える課題		公益財団法人枚方市スポーツ協会の目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施することができない。													
	ターゲットが抱える課題															
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公益財団法人枚方市スポーツ協会が年代や距離に応じて気軽に参加できる新春走ろうかいを実施することで、大会参加者が健康増進や体力づくりにつなげている状態。															
事業概要	市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方市体育協会が実施する下記事業に補助金を支出し、活動の補助を行う。 新春走ろうかい事業として、昭和52年から毎年成人の日に開催。淀川河川敷において気軽に走れる2kmのジョギングの部から本格的なハーフマラソンまで26種別あり、年代や距離に応じて誰もが気軽に参加できるマラソン事業で、毎年全国各地から約4,000人のランナーが参加している。															
2. ロジックモデル及び指標設定																
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
	年代や距離に応じて誰もが気軽に参加でき、健康増進のきっかけになる。				スポーツ協会により十分な規模・内容のイベントが実施され、多くの世代が参加する。				事業を行うスポーツ協会に補助金を交付し、活動を補助する。							
指標設定	指標説明		令和元年度を基準とした参加者数増減率 【算出式:(当該年度におけるイベント参加者数-令和元年度におけるイベント参加者数(4790人))/令和元年度におけるイベント参加者数×100】				イベント参加者数				補助金に係る当初予算額に対する決算額の割合【算出式:決算額/当初予算額×100】					
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)		0	2	3	4	4,000	4,423	4,445	4,467	100	100	100	100		
	実績		▲ 84.24	▲ 52.42			755	2,279			92	100				
	達成度		48%				52%				100%					
	分析		オンライン開催と現地開催を併用実施することで、令和2年度より参加者の減少を抑えられている。				オンライン開催と現地開催を併用実施することで、令和2年度より参加者数が増加した。				補助対象事業に対して、補助金の交付を行った。					

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	802	798	786		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	802	798	786		
	物件費計	8,113	8,172	8,877	8,877	100%
	歳出計	8,915	8,970	9,663		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	8,915	8,172	8,877	8,877	

5. 総括的分析

総括的分析 令和2年度は、参加者がそれぞれのタイミングで実施した走行記録を集約する形でのオンライン開催としたが、令和3年度はオンライン開催と現地開催を併用して実施した。新型コロナウイルス感染症の影響下でありながら、令和3年度の参加者数は令和2年度の3倍以上であり、令和元年度の約半数程度まで参加者が戻ってきている。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	補助金の支出の他、実施手法の検討等に関する助言を行い、アフターコロナにおいても効果的に継続実施可能な事業となるよう支援を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	オリンピック・パラリンピック関連事業(スポーツ振興課)											
測定年度	2021(R3)年度				部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名											
1. 事務事業の概要												
種類	市民サービス			特性			選択の事業			区分		一般事務事業
事業期間	2020(R2)年度				年度	~	2021(R3)年度				年度まで	
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称												サンセット
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		これからスポーツに興味を持つまたは現在継続的にスポーツを実施している市民。									
	サブターゲット		聖火リレーにランナーとして応募した市民									
	ターゲットが抱える課題		日本で開催される国際的なスポーツイベントを身近に感じられる機会が不足し、スポーツ活動が活発にならない。									
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	オリンピック・パラリンピックを地元で身近に楽しむことができ、事業をきっかけとして市民の関心が高まり、体力向上や健康増進の取り組みを実施、継続している状態。											
事業概要	新型コロナウイルス感染症拡大により、2020年4月14日に枚方市にて実施される予定であった聖火リレーが延期となった。その後、2021年10月に改めて聖火リレーが実施されることが決定し、日程については1日前倒しされ4月13日に実施されることとなった。走行ルート等については基本的に前回予定されていた内容が引き継がれるものの、感染症拡大防止のための対策が追加されることが予想される。2020年10月時点では組織委員会からのガイドライン等が示されていないため具体的な方針は未定である。											

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル		参加者のスポーツへの関心が高まる				各イベントに参加者が集まる				聖火リレー、コミュニティライブサイト等を実施する			
指標設定	指標説明	コミュニティライブサイト参加者の満足度【算出: アンケートで「満足」「やや満足」と回答する方/アンケート回答者全体の割合×100】				コミュニティライブサイトの参加者数				オリンピック・パラリンピック関係イベントの実施日数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	80	80	-	-	1,500	1,500	-	-	3	3	-	-
	実績	0	0			0	0			0	2		
	達成度	0%				0%				67%			
分析	コミュニティライブサイトを実施しなかった。				コミュニティライブサイトを実施しなかった。				オリンピックオンライン応援イベントとパラリンピック聖火フェスティバル(枚方市採火)を実施した。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	4,167	10,457		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	183		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	—	4,167	10,640		
	物件費計	—	4,731	10,273	10,338	103%
	歳出計	—	8,898	20,913		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	
	府支出金	—	0	5,114	5,114	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	0	5,114	5,114	
	一般財源	—	4,731	5,159	4,824	

5. 総括的分析

総括的分析	コミュニティライブサイトは人を集めて実施するイベントであるため、新型コロナウイルス感染症拡大状況下での感染リスクを鑑み、中止とした。代替イベントとして、オンライン配信サービスを利用したオリンピックオンライン応援イベントを実施した。パナソニックパンサーズの協力により、パンサーズの現役バレーボール選手による解説付きのイベントを行い、206人が配信に参加した。また、枚方市採火についても、会場には関係者のみとし、オンラインでの配信を行うことで、コロナ禍でもイベントを実施することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	終了
今後の取組方針	事業を終了する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	スポーツ振興課運営事務										
測定年度	2021(R3)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										
1. 事務事業の概要											
種類	内部管理			特性	庶務的事務			区分	庶務的内部管理事務		
事業期間	不明			年度	~				年度まで		
根拠法令等	決裁										
関係補助金名称								サンセット			-
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット		スポーツ振興課職員								
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題		所管事務を効率的かつ効果的に執行すること。								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	各業務の点検・評価を行うことで、所管事務に関する手法改善を随時行い、業務を円滑に遂行できる。										
事業概要	課の運営事務										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)					インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
		単位				単位					単位			
	指標種類													
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標(見込み)												
	実績													
達成度														
分析														

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.02
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,207	3,190	3,143		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	100	0	37		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	3,307	3,190	3,180		
	物件費計	843	2,076	1,212	1,502	81%
	歳出計	4,150	5,266	4,392		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	4,150	2,076	1,212	1,500	

5. 総括的分析

総括的分析 【スポーツ振興課運営事務】市議会関係、行政評価関係、車両管理関係
 【スポーツ振興課内庶務事務】予算・決算関係事務、物品購入及び契約関係事務、文書関係事務、職員の服務・給与・休暇に関する事務
 【その他】コロナ対応関係、AED関係等

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	課所管事務の適正な執行に向けて、各課庶務関係事務を正確かつ適正に実行する。